

# 東北視察 報告

社会奉仕委員会 副委員長

**中山正隆**

(大阪リバーサイドRC)

日 程：平成26年10月11日、12日

行 先：岩手県大船渡市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、石巻市方面

参加者：直前PDG、地区災害支援委員会 委員長 福家 宏(八尾中央RC)

地区ロータリー財団委員会 委員長、災害支援委員会 委員 溝畑正信(東大阪東RC)

地区ロータリー財団委員会 副委員長、災害支援委員会 副委員長 宮里唯子(茨木西RC)

地区社会奉仕委員会 副委員長 中山正隆(大阪リバーサイドRC)

委員 溝手 悟(大阪天満橋RC)、服部潤承(池田くれはRC)

角谷真枝(茨木西RC)

※2520地区の多くの方にお世話になりました。

地区災害支援委員会と地区社会奉仕委員会が、岩手県、宮城県方面の視察を行いました。

【10月11日】

## ■大船渡市漁業協同組合にて

(1)2620地区から震災後贈呈された軽トラック確認



大船渡漁協前にて

(2)漁協関係者と懇談

岩脇組合長から、震災後、皆が車も失い何もできないでいる時に、ロータリークラブを通じて5台の軽トラックが届いた。これを見て、皆ががんばろうという気が沸いた、との熱い挨拶があった。

## ■カキ養殖いかだ見学

最初は小型網、次に中型網で養殖をするが、これから大きくする中型網が足りない。



カキ養殖場を視察

## ■赤崎小学校グラウンド訪問

赤崎小学校は、校舎が流されてしまい仮校舎で授業をしているが、体育等グラウンドは前のままの土地を使用し、バスで送迎しているとのことである。副校長先生から、これまで、テントやベンチを支援していただいております、子供たちが大変喜んでおります。まだまだ備品が不足しており、子供たちのためにテントをさらに支援していただけないかとの要望があった。

## ■陸前高田市役所訪問

気仙小学校、高田小学校、横田小学校など市内の小学校は、校庭が仮設住宅になっており、子供たちの遊び場もなくなっている。子供たちの学童クラブ(学童保育：放課後の児童のケア)が重要となっている。備品、運営費用が不足しており、これまでも各地ロータリークラブの支援を受けているが、引き続きの支援をお願いしたい。

## ■大船渡温泉ホテルでの懇談会

(ロータリー関係者、地元関係者と懇談)

復興進捗状況は、撤去はほぼ終了、造成に着手し、28年度には提供できる見込みである。

ロータリークラブからは、これまで漁協車両支援、ホタテ養殖支援、小学校の防災用具、遊具支援等多くの支援をいただいている。小学校が修理でき再開しているが、避難場所となり、寒さ対策として寝袋、毛布等を備蓄したい。スポットライト、未満児(3歳未満)の遊具も不足している。放課後児童クラブの充実が喫緊の課題となっている。備品(CDプレーヤー等)、遊具等の支援をお願いしたい。

今日見ていただいたカキ養殖のカゴの支援をお願いしたい。

【10月12日】

## ■小泉川鮭養殖組合訪問

(宮城県気仙沼市)

2660地区他の支援によるクレーン車、軽トラックを確認。

## ■(有)伊勢丸水産(漁協関係)訪問

(宮城県石巻市)

茨木RC他の支援によるフォークリフトを確認。

地域の漁業従事者が津波で意欲を失っていたところを、支援のフォークリフトが来たことで、頑張ろうという意欲がわいてきた。本当に感謝している。

## ■大川小学校(石巻市)

児童74人が犠牲になった大川小学校跡で、慰霊碑に線香を手向けた。



鎮魂愛の鐘前にて  
(大船渡市)



寄贈された重機  
(石巻市)